DIRTFREAK
ELECTRIC POWER

GE-N3

2025年3月24日改定

オーナーズマニュアル/保証書

このたびは弊社製品GE-N３をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に本マニュアルをよくご覧ください。また、本マニュアルは車両を保有している間、大切に保管してください。
保証書は裏表紙に印刷されています。販売店、ご購入日の記入をご確認ください。

CONTENTS

※⚠マークの項目は安全に運用するにあたり、特に重要です。充分に内容に目を通してください。

■はじめに P.4
■登録書類の記載例 P.5
■同梱品の確認 P.6
■各部の名称 P.7~8
■ディスプレイ・モードスイッチ P.9
■距離単位、メーター補正 P.10
■バッテリーの充電 P.11~12
⚠ ■充電時のご注意 P.13
■電源オン、走行開始 P.14
⚠ ■モード3（公道走行不可） P.15
■モードによるレスポンスイメージ P.16
■走行終了、電源オフ P.17
■バッテリー残量について P.18
■アクセサリー用電源 P.19
■各部の調整 P.20~22
⚠ ■オフロード走行時のご注意 P.23~24
■冬季の運行 P.25
■洗車 P.26
⚠ ■日常的な点検、メンテナンス P.27
⚠ ■ブレーキについて P.28
■フロントフォークについて P.29
■保管 P.30
■補修部品 P.31
■スペアキー P.32
■トラブルシューティング P.33~34
■エラー表示 P.35
■主要箇所の締め付けトルク P.36~38
■主要諸元 P.39

はじめに

GE-N3は第一種原動機付自転車です。運転に必要な免許を携帯し、JIS・SGマークの付いたオートバイ用のヘルメットを正しく装着して乗車してください。また、ナンバープレートの取得および自賠責保険の加入が必要です。
登録は、お住まいの各市町村の窓口あるいはウェブサイトより「**軽自動車税申告兼標識交付申請書**」を入手し、必要事項を記入の上、窓口へ提出してください。

登録書類の記載例（個人所有の場合）

軽自動車税（種別割）申告（報告）書兼標識交付申請書
（原動機付自転車・小型特殊自動車）

令和　　年　　月　　日

あて先　　市長

つぎのとおり申告（報告）及び申請します。

申告の理由		種別		標識番号
新規	変更	原動機付自転車	小型特殊自動車	
□ 購入 □ 譲受け □ 転入 □ その他（　）	□ 所有者 □ 使用者 □ 住所 □ 標識番号 □ その他（　）	☑ 第一種一般原付（0.05L/0.6kW以下） □ 第一種特定原付（0.6kW以下） □ 第二種乙（0.09L/0.8kW以下） □ 第二種甲（0.125L/1.0kW以下） □ ミニカー（0.05L/0.6kW以下）	□ 農耕作業用 □ フォークリフト □ その他（	納税義務者

フレーム番号のDF Gの後の４ケタ

納税（申告・報告）義務者		
☑ 所有者	住所又は所在地	〒□□□－□□□□ 市 マンション・アパート名
	氏名又は名称	（フリガナ）
	生年月日	明・大・昭・平　年　月　日　電話番号
□ 使用者	住所又は所在地	〒□□□－□□□□ 市 マンション・アパート名
	氏名又は名称	（フリガナ）
	生年月日	明・大・昭・平　年　月　日　電話番号
届出者	住所又は所在地	
	氏名又は名称	（フリガナ）
	電話番号	

所有者情報を記入

同上

同上

代理申請の場合に記入

所有形態	① 自己所有　2．所有権留保　3．商品車　4．リース車　その他（　）
主たる定置場 ※（　）内は旧主たる定置場所在の市町村名を記入	① 左記所有者の住所又は所在地と同じ　（　） 2．　（　）

車名	型式及び年式	原動機の型式
ダートフリーク	該当する年式　型式	DF01-600W
車台番号	型式認定番号	総排気量又は定格出力
フレームに記載の番号	空欄	0.6 L，cc ①
長さ	幅	最高速度
		km/h

特定小型原付のための情報なので記載は不要です

販売譲渡証明書

上記□原動機付自転車（特定原付を除く。）・□特定原付・□小型特殊自動車を販売又は譲渡したことを証明します。

令和　　年　　月　　日

住所又は所在地

氏名又は名称

電話番号

販売店が記入

※販売証明書及び譲渡証明書の記載方法は裏面を参照してください。

該当する□にレ印を付けてください。

当該車両については、以下のとおり相違ありません。
□ 改造した場合　⇒　□ 車輪数変更（　）輪から（　）輪に変更　□ 排気量等変更（　）cc /kWから（　）cc /kWに変更
□ その他（具体的に記入してください。）（　）
□ ミニカー登録の場合　⇒　車輪数（　）輪　車室の有無（有・無）　輪距50cm超（有・無）

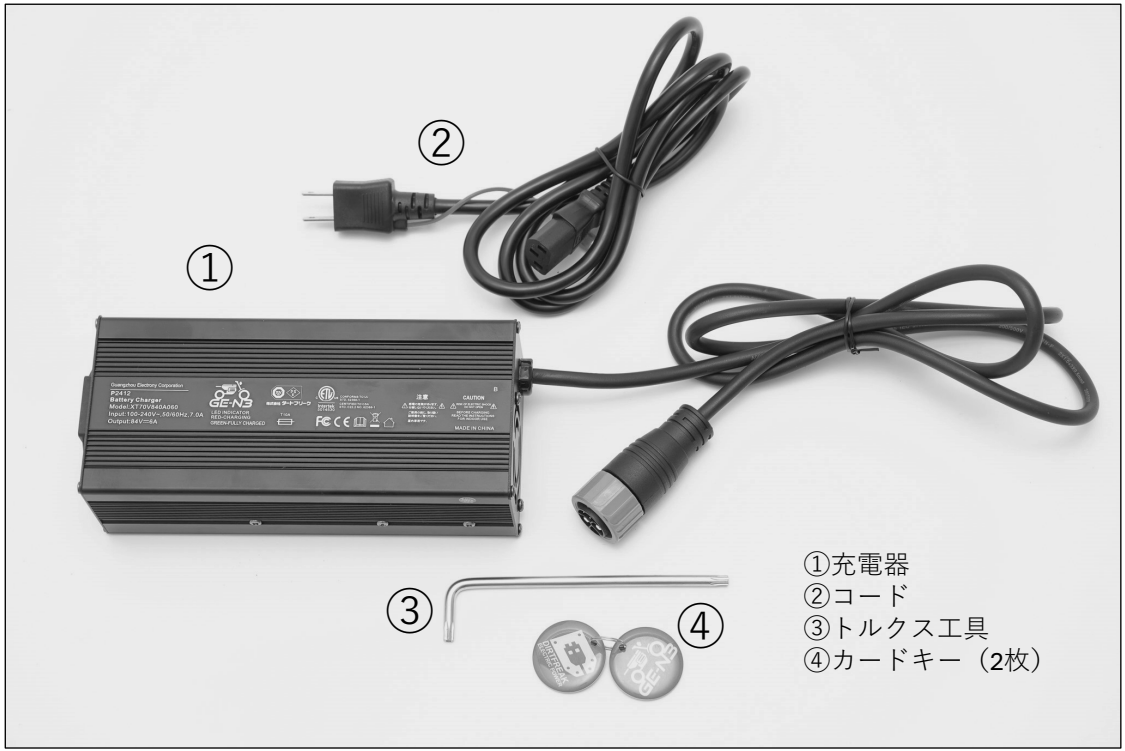
住民基本台帳の登録地が住所地と異なる場合

受付印

※処理欄（添付書類）		個人番号	個人・住登外法人
□販売証明書　□譲渡証明書　□廃車受付（証明）書　□石刷り □改造証明書　□その他（　）		電算入力日	照合

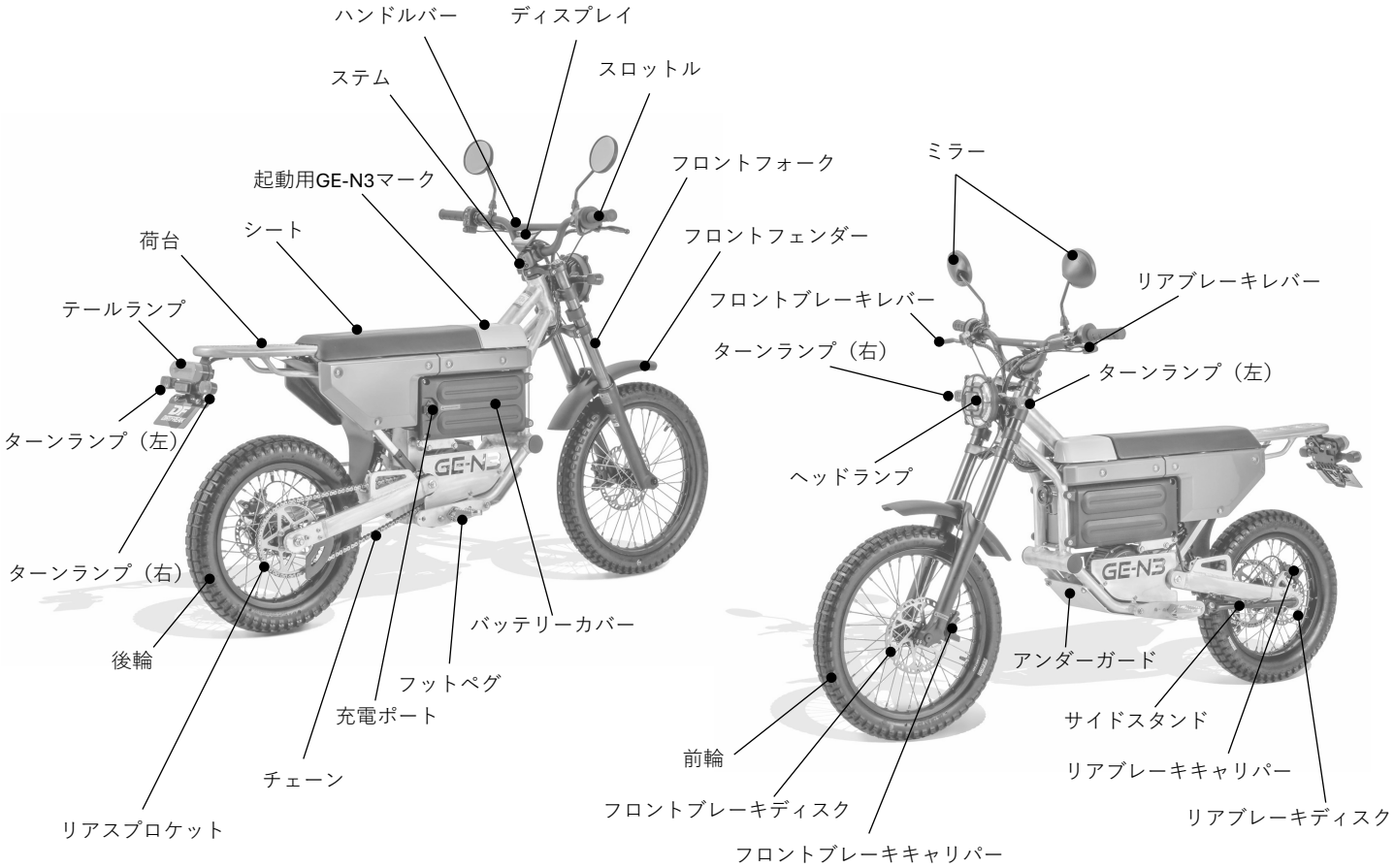
同梱品の確認

車両の他、以下の同梱品が揃っているかご確認ください。

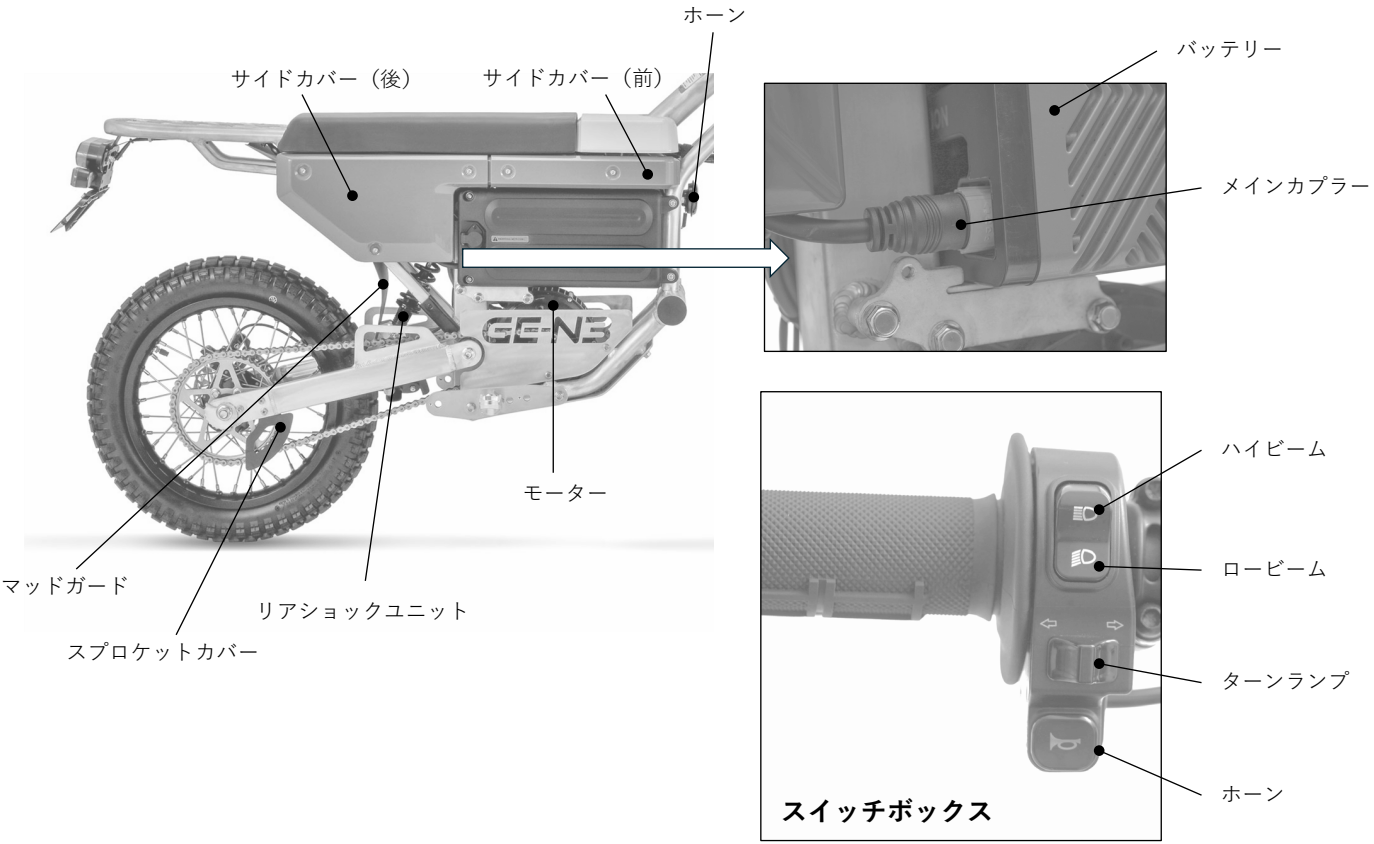


※トルクス工具は、ショップ到着時にはミラー箱内に貼り付けてあります。

各部の名称

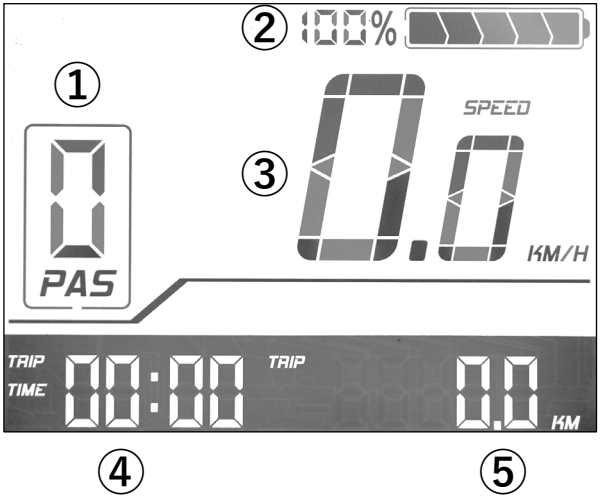

ハンドルバー
ディスプレイ
ステム
スロットル
起動用GE-N3マーク
フロントフォーク
ミラー
シート
荷台
フロントフェンダー
テールランプ
フロントブレーキレバー
リアブレーキレバー
ターンランプ（右）
ターンランプ（左）
ターンランプ（左）
ヘッドランプ
ターンランプ（右）
バッテリーカバー
後輪
アンダーガード
フットペグ
充電ポート
サイドスタンド
前輪
チェーン
リアブレーキキャリパー
フロントブレーキディスク
リアブレーキディスク
リアスプロケット
フロントブレーキキャリパー

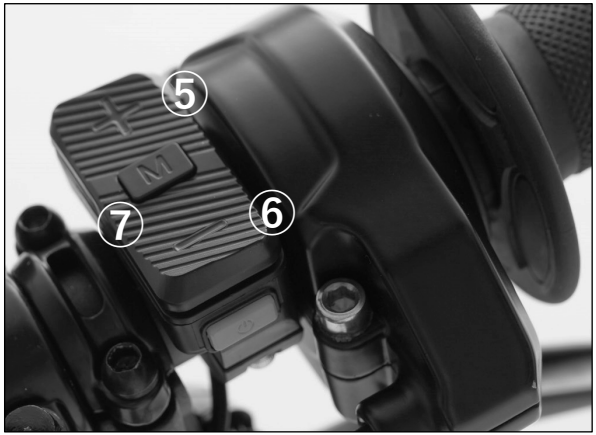
各部の名称


ホーン
サイドカバー（後）
サイドカバー（前）
バッテリー
メインカプラー
GE-N3
モーター
マッドガード
リアショックユニット
スプロケットカバー
ハイビーム
ロービーム
ターンランプ
ホーン
スイッチボックス

ディスプレイ・モードスイッチ

ディスプレイとモードスイッチの各部位の名称と使用方法です。





①モード表示

②バッテリー残量％

③スピードメーター

④トリップ稼働時間

⑤走行距離（トリップ/総走行距離）

⑤　+ボタン
押すごとに、モード表示が0→1→2と変化します。

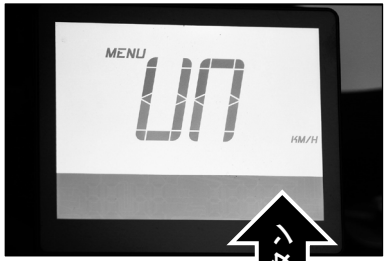
⑥　-ボタン
押すごとに、モード表示が2→1→0と変化します。

⑦　Mボタン
押すごとに、走行距離表示が「トリップ」⇔「総走行距離」に切り替わります。
長押しすると、メーター数字が点滅し、もう一度押すと、トリップ及び走行時間がリセットされます。

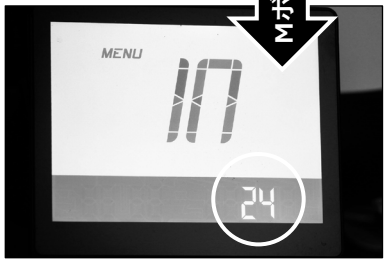
距離単位、メーター補正

距離単位をkm↔マイルに変更したり、スプロケットを変更した際にメーターを補正するためのものです。
通常のご使用においては変更する必要はありません。

補正ボタンを長押し
距離単位変更モードに移行します。



Mボタン



距離単位変更モード
+ボタン、-ボタンを押すことで、km/h↔ml/hを切り替えることができます。

単位決定後、補正ボタンを押すと、通常表示に戻ります。

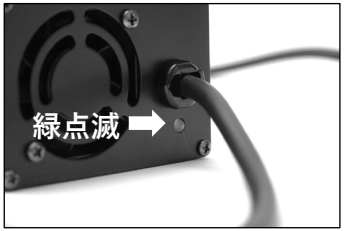
距離単位変更モードの状態でMボタンを押すと、メーター補正モードに移行します。

メーター補正モード
+ボタン、-ボタンを押すことで、〇で囲んだ数値が上下します。数値が１つ上下すると、
メーターが表示するスピードが約１％上下します。

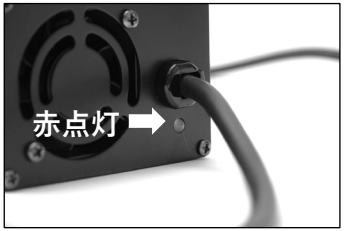
単位決定後、補正ボタンを押すと、通常表示に戻ります。

タイヤ外径、スプロケットの丁数を変更した際に補正してください。標準値は24です。

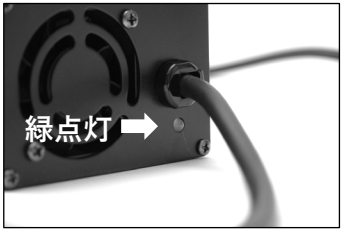
バッテリーの充電（車体搭載時）

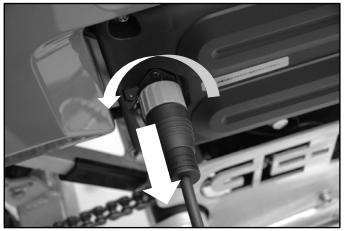


充電器とコンセントプラグを接続し、家庭用の100V電源に差し込むと、インジケーターの緑のランプが点滅します。



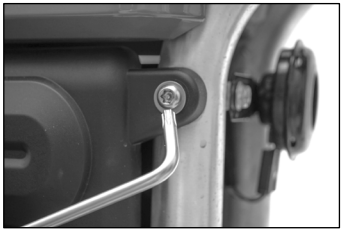
車体の充電ポートのフタを開け、充電プラグをカチっと音がするまで差し込んでください。
2〜3秒後に、充電器のインジケーターが赤く点灯し、充電が開始されます。
充電時間の目安は約4時間です。
※気温等に影響されます。

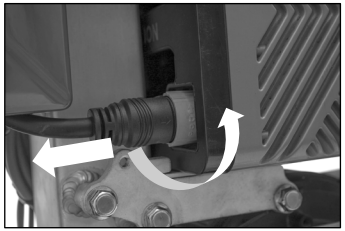




充電が完了するとインジケーターは緑に点灯します。充電プラグの青いリング外周部を左に回転させながら、充電ポートから引き抜いてください。

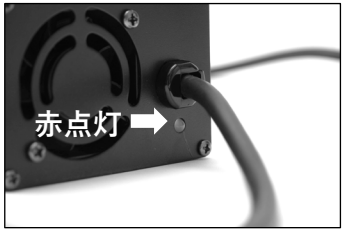
バッテリーの充電（バッテリー単体）



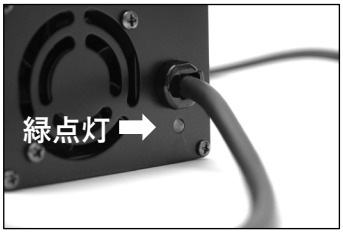


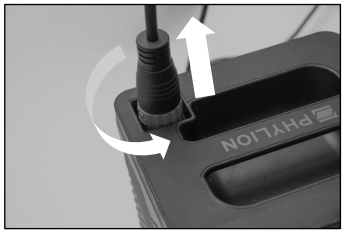
車体右側のバッテリーカバー上の4本のボルトを付属の工具で取り外してください。

バッテリーを数センチ引き出し、メインカプラーの青いリング外周部を左に回転させながら、引き抜いてください。



バッテリーの充電ポートに、充電器ケーブルの充電プラグをカチっと音がするまで差し込んでください。
2〜3秒後に、充電器のインジケーターが赤く点灯し、充電が開始されます。
充電時間の目安は約4時間です。
※気温等に影響されます。





充電が完了するとインジケーターは緑に点灯します。充電プラグの青いリング外周部を左に回転させながら、充電ポートから引き抜いてください。

充電時のご注意 ⚠

・必ず、付属の専用充電器をご使用ください。
・屋外での充電は、雨がかからない場所で行ってください。
・周囲に引火性の物が無い場所で充電してください。
・（夏季は特に）充電器に直射日光が当たらないようにしてください。
・充電器は熱を持ちます。排気口を塞いだり、箱やカバーで覆わないでください。
・発電機からの充電は、発電機によっては充電できない、あるいは充電器が故障することもあります。
・充電器は防水設計ではありません。保管、運搬の際は濡れないようにしてください。

バッテリーの取り扱い ⚠

・落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。
・分解、破砕、貫通を行わないでください。
・外部接点を短絡させないでください。
・60℃以上の高温にさらさないでください。
・火中や水中に投じないでください。
・長期間保管する場合は、定期的に再充電してください。
・廃棄の際は各自治体の規定に従ってください。

デイトナ「DAYGENE1900e」およびヤマハ発動機「EF2500i」については充電器の動作確認済みです。

電源オン、走行開始

付属の起動用カードをGE-N3マークに近づけてください。電源がオンになり、ディスプレイと灯火類が光ります。

※カードキーは2枚重ねて近づけると、反応しません。1枚は予備として保管してください。

起動時は毎回、モード表示は「0」が表示されます。この状態では、スロットルを操作しても走行することはありません。

モード操作スイッチの「+」を押すとモード表示が「1」になり、もう一度押すと「2」になります。
「-」を押すと「2→1→0」になります。

※安全のため、モード選択スイッチを操作する際は左手のブレーキを握った状態で行ってください。

サイドスタンドを払い、モード表示が「1」あるいは「2」の時にスロットルを手前に捻ると、車両は走行を開始します。

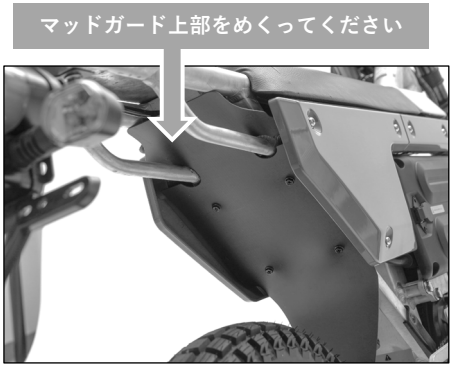
「モード1」はスロットルに対しての反応が穏やかで、操作に慣れない方の乗車に適しています。「モード2」はスロットルに対して反応が素早いため、ある程度慣れた後でのご使用をお薦めします。

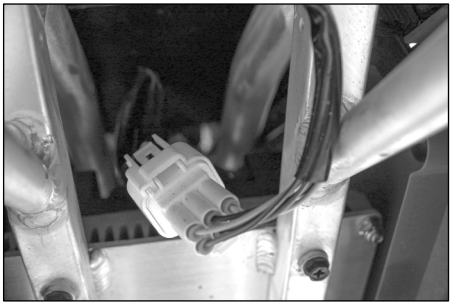
※サイドスタンドにも安全装置の役割があり、スタンドが立っている時は走行モードに関わらずモーターは駆動しません。

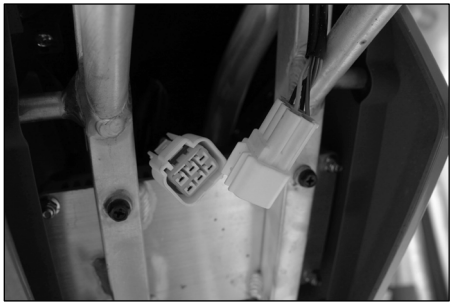
モード3（公道走行不可）⚠

下に示すコネクターの接続を外すと、テールランプユニットの電源が切断され、消灯します。この状態で+ボタンを押すと「モード３」を選択することができます。

この状態では保安基準を満たさないため、公道を走行することはできません。必ず、私有地や専門のオフロードパーク等で走行してください。（河川敷や駐車場など、公道と同様にみなされる場所もあります）







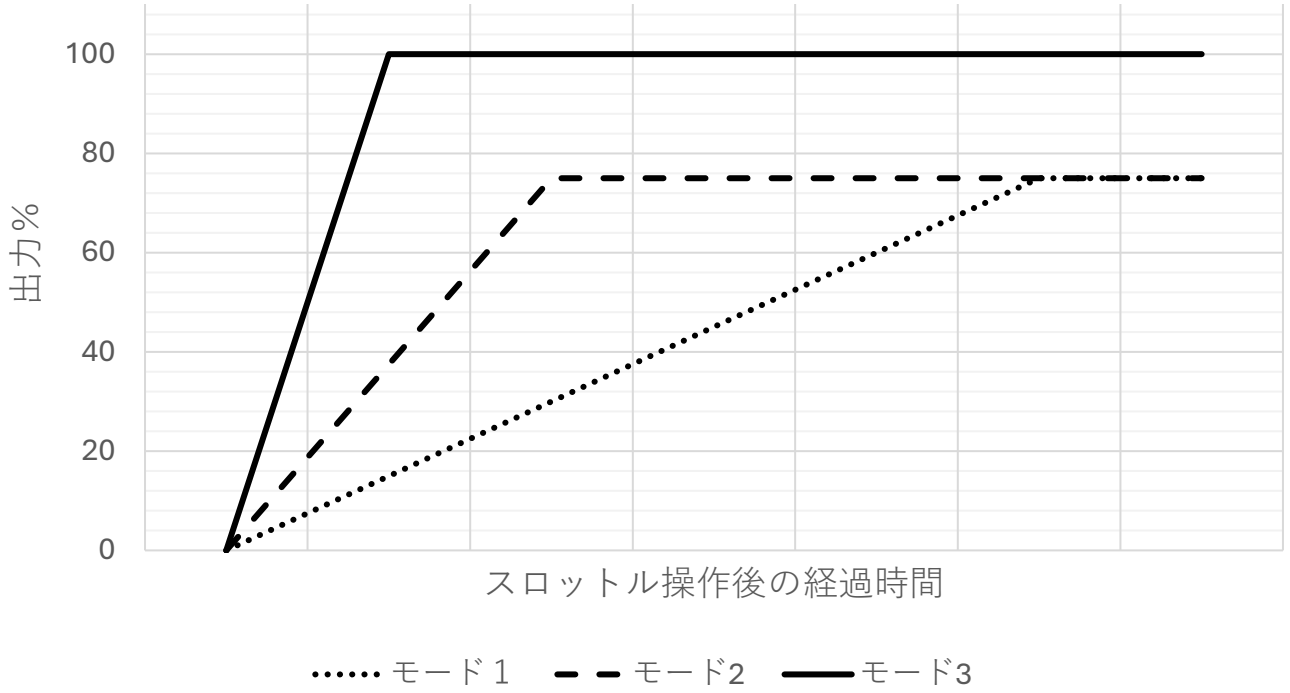
※撮影のため、マッドガードを取り外しています。

「モード３」はスロットルの反応が早く、また登坂性能、加速性能、最高速度が向上しますが、バッテリー消費も早くなります。

また、急激にスロットル操作を行うと前輪が浮き上がることもあるため、注意して操作してください。

モードによるスロットルレスポンスとパワーの概念図

グラフはイメージです。実際の制御とは異なります。



走行終了、電源オフ

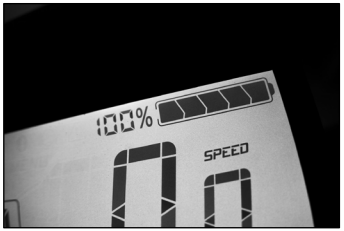
走行を停止後は、すぐにモードスイッチを操作し「モード0」にするようにしてください。

「モード1」「モード2」のまま降車すると、誤ってスロットルに何かが触れた弾みで走行してしまう危険があります。

走行を終了する際は、カードキーをGE-N3マークに近づけてください。電源がオフになり、ディスプレイと灯火類が消灯します。

バッテリー残量について

ディスプレイ右上に表示されるバッテリー残量％を参考にしてください。



電池残量の減り方は一定ではありません
100％に近いほど、電池の減り方はゆっくりです。特に50％を下回ると、減り方のペースが早まってゆきます。

登り坂や、高回転を多用する場合も、電池の減りのペースは早まります。下り坂では電池の減りはゆっくりになりますが、回生ブレーキは備えていないため、残量が増えることはありません。

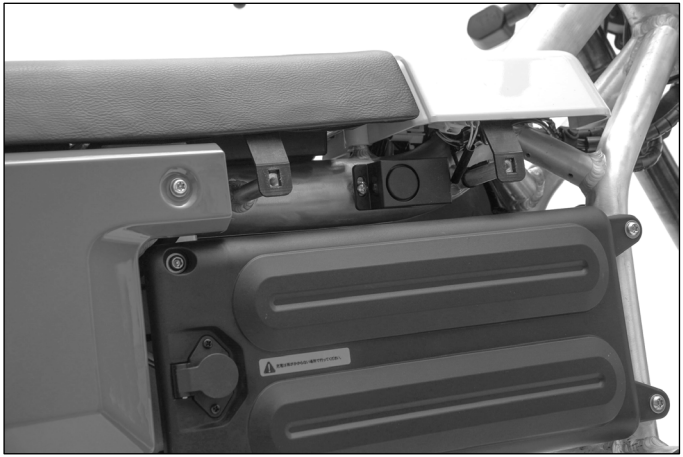
電池残量が9％以下になった場合
電池残量が9％以下の時は、航続可能距離を確保するため、モードに関わらず、強制的に出力が半減します。すみやかに充電が可能な場所に移動してください。

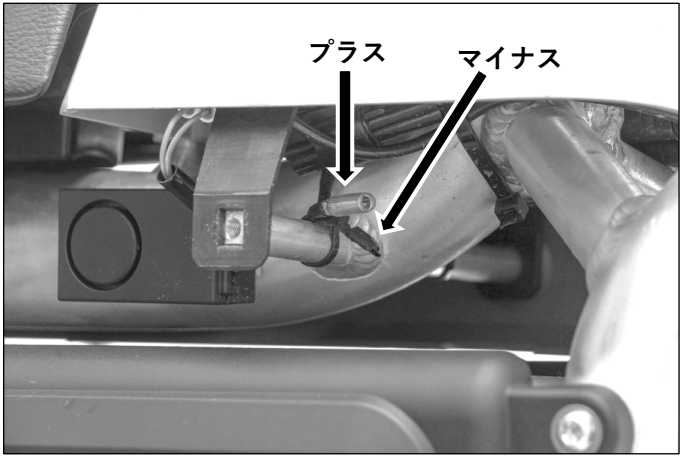
0％になった場合、モーターは稼働を停止しますが、安全のため灯火類は約１時間点灯し続けます。
（とくに夜間は）すみやかに安全な場所にバイクを移動させてください。

アクセサリー用電源

図示する外装カバーを取り外すと、中にDC12V用の配線が用意されています。市販のUSBコネクター等をご使用いただけます。

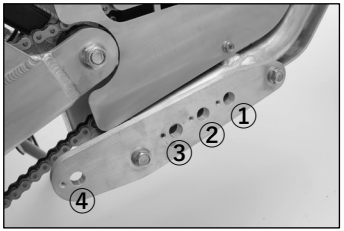
※配線作業は、必ずバッテリーのメインカプラーを取り外した状態で行ってください。

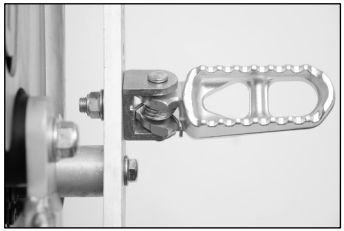




各部の調整 1

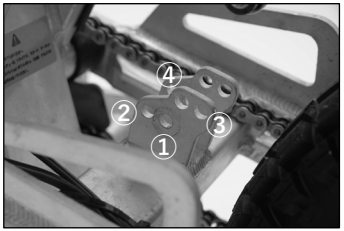
体形や、乗車スタイルのお好みに合わせて、各部のポジションを調整してください。





フットペグ
４カ所の取り付け穴から選択できます。
①②は一般スクーターに近いポジション。③は一般的なオフロードバイクに多く見られる比率のポジション。④は、トライアルバイクに近い比率のポジションです。

お好みの取り付け位置を選択し、回り止めのイモネジを取り付けた後、ナットをしっかりと締めこんで固定してください。（参考トルク25N.m)



リアサスペンション下端
４カ所の取り付け穴から選択できます。（指定トルク：14N.m)

①標準
②標準に対し車高が約30mm上がりハンドリングが軽快になります。
③硬め（標準ポジションで、バネが硬くなります）
④オフロード硬め（オフロードポジションでバネが硬くなります）

ハンドルバー
側面視で垂直を標準とし、手前に1〜2°引いたポジションは安定志向です。
奥に1〜2°倒したポジションはトライアル的な走行に適しています。
ポジション決定後、４カ所のネジをしっかりと締めこんで固定してください。
（指定トルク：8N.m)

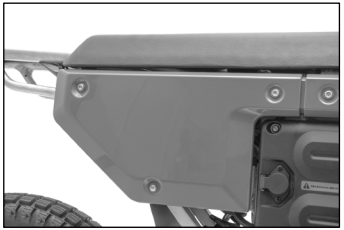
各部の調整 2

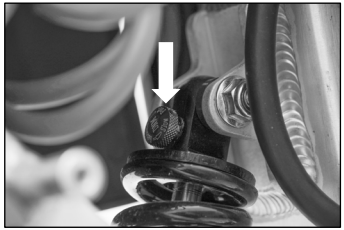
体形や、乗車スタイルのお好みに合わせて、各部のポジションを調整してください。

フロントフォーク調整　左側（プリロード）
フォーク上部の左側のダイヤルはバネの初期荷重を調整するものです。初期は一番柔らかい状態です。右に回すと乗り心地が硬くなってゆきます。

※台に載せて車両を浮かせるなど、サスペンションを全部伸ばした状態で調整してください。少しでも縮んでいる時に回そうとすると、ダイヤルは回転しません。無理に回すと内部が破損するのでご注意ください。

フロントフォーク調整　右側（伸び側減衰）
フォーク上部の右側のダイヤルはサスペンションが伸びるスピードを調整するものです。
右に回転させ、ダイヤルが止まった位置が、最も伸びるスピードが遅くなります。徐々に左に回転させ、好みのスピードに調整してください。減衰調整の範囲以上に左に回転させても、伸びるスピードは変化しません。



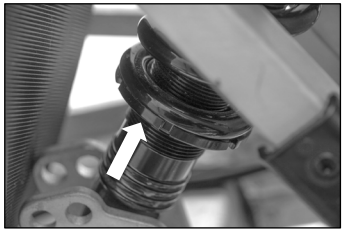


リアサスペンション調整　（伸び側減衰）
側面後部の外装カバーを取り外し（慣れれば手探りでも調整可能です）矢印の示すダイヤルでリアサスペンションが伸びるスピードを調整することができます。

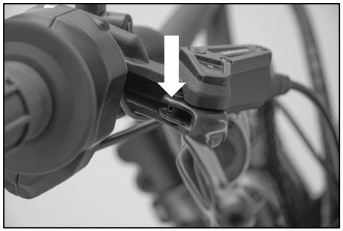
時計回しで減衰が弱くなり、伸びるスピードが速くなります。
反時計回しで減衰が強くなり、伸びるスピードが遅くなります。
各方向とも、ダイヤルが硬くなったらそれ以上回さないでください。

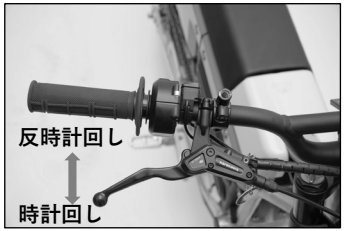
各部の調整 3

体形や、乗車スタイルのお好みに合わせて、各部のポジションを調整してください。



リアサスペンション調整　（プリロード）
車体を台に乗せ、後輪を浮かせてください。
矢印のリングを回転させることでリアスプリングの沈み込みの初期量を調整することができます。
上から見て時計回しで柔らかくなり、反時計回しで硬くなります。
※柔らかくする際、バネが伸びきってリングとの隙間やガタができない範囲で調整してください。





ブレーキレバーの位置（左右同じ方法）
矢印のネジを回転することで、レバーの位置を変更することができます。時計回しに回すとレバーは遠くなり、反時計回しでレバーは近くなります。

※近くしすぎるとレバーを握り込んでもブレーキがしっかりと効かない場合があります。必ず走行前にご確認ください。

オフロード走行時のご注意 1 ⚠

オフロード走行は転倒の可能性が高くなります。以下の点に留意し、安全に走行をお楽しみください。

服装

フルフェイスのヘルメット、グローブ、長袖、長ズボン、ハイカットのブーツ（あるいはオフロード走行用のブーツ）を推奨します。
ゴーグル、ヒジ、ヒザ、胸部のプロテクターもあればより安心です。

ネジ、スポークの緩み

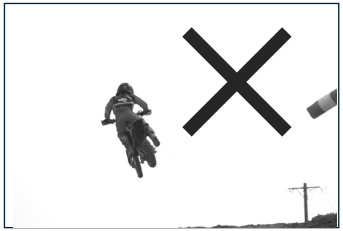
オフロードの振動により、舗装路に比べて各部のネジやスポークが緩みやすくなります。走行の前後に各部のボルト、ナット、スポークの増し締めをお願いします。
特にブレーキ回りは入念にご確認ください。

タイヤ空気圧

クッション性とグリップ性の理由からタイヤの空気圧を落とす場合、0.7〜0.8kgf/cm2を目安として推奨します。
空気圧を下げ過ぎると、ビードずれやパンクのリスクが高くなります。

オフロード走行時のご注意 2 ⚠

オフロード走行は危険を伴うこともあります。以下の点に留意し、安全に走行をお楽しみください。



大きなジャンプを飛ばないでください

モトクロスコースやエンデューロコースなどで、サスペンションがフルボトム（縮み切ってしまう）するようなご使用は避けてください。
また、短時間に連続して大きな伸縮が続くと、熱によりフロントフォークの動きが硬くなる場合があります。

モーターには過度な負荷に対する保護機能があります

急な上り坂などで、モーターに過度の負荷を与え続けると、保護機能が働き、電力がカットされます。ブレーキを引きずった走行や登り坂道での再発進の際はご注意ください。

登り坂道の途中で、モーターの力だけで静止するような場合は数秒で保護機能が働きます。静止する場合は左ブレーキを使用してください。

泥地を走行するとブレーキパッドの減りが早くなります

雨上がりの泥濘地など、濡れた土はブレーキパッドの消耗が早くなります。オフロードの走行前と走行後に、パッドの残量を確認するようにしてください。

冬季の運行

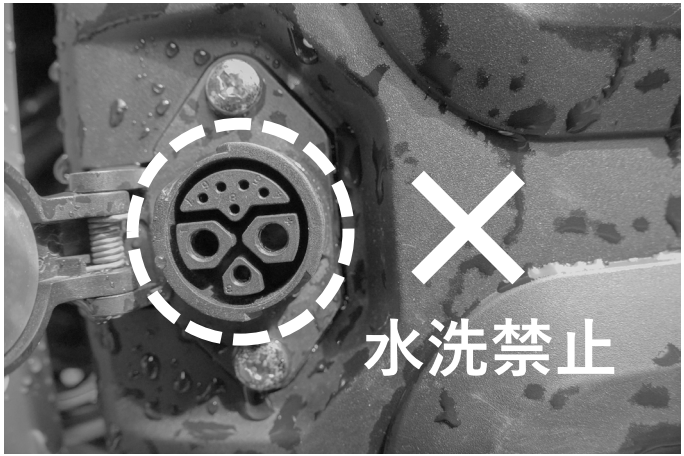
冬季（10℃以下くらいが目安です）は、以下のようなパフォーマンスの低下が見られます。特に０℃以下は顕著です。ご注意ください（夏季も気温によっては同様の保護機能が作動しますが、日本の気候では発生頻度は高くありません）

・走行可能距離が短くなります。
・電池残量が50％を下回ってからの電池減少のペースが速くなります。
・電流値が制限され、ピークパワーと速度が低下します。
・夜間の冷え込みなどの後、電池残量が数パーセント減って表示されることがあります。

洗車

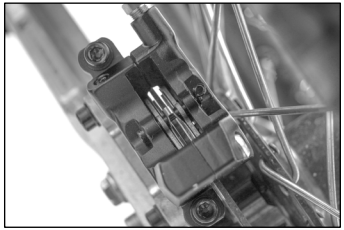
水道を用いた流水での洗車を推奨します。電気部品やカプラー、ダストシール類を傷めてしまう可能性が高いため、高圧洗浄機での洗車は控えてください。
ワックスを使用する場合、ブレーキまわりに付着しないように気を付けてください。

充電ポートは水洗せず、泥が付着した場合はナイロン製の歯ブラシやエアブローを使用してください。



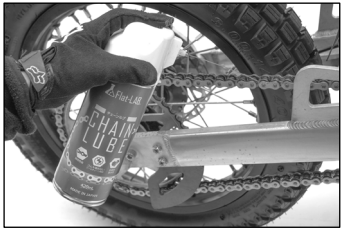
日常的な点検、メンテナンス ⚠

安全にご使用いただくため、日常的な点検、メンテナンスを行ってください。点検、メンテナンスについての詳細は製品ウェブサイト（https://www.yotsubakids.jp/maintenance）をご覧ください。ご不明な点は販売店にご相談ください。

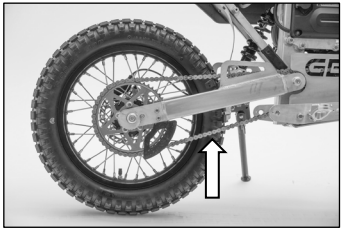


ブレーキパッド残量
パッドの残量が1mm程度を目安に交換してください。

タイヤの空気圧
1.0~1.6kgf/cm2を目安に管理してください。



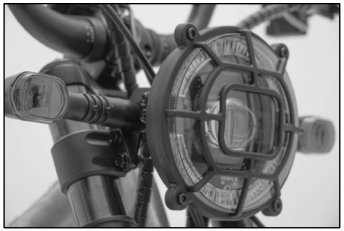
チェーンの給油
シール対応のチェーンオイルを差してください。



チェーンのたるみ
矢印付近で、上下2〜3センチを目安に調整してください。

チェーンプロテクター
黒い樹脂プロテクターが削れていて、フレームが露出しそうな場合、新品に交換してください。

タイヤの溝
タイヤが減っている場合、交換してください。



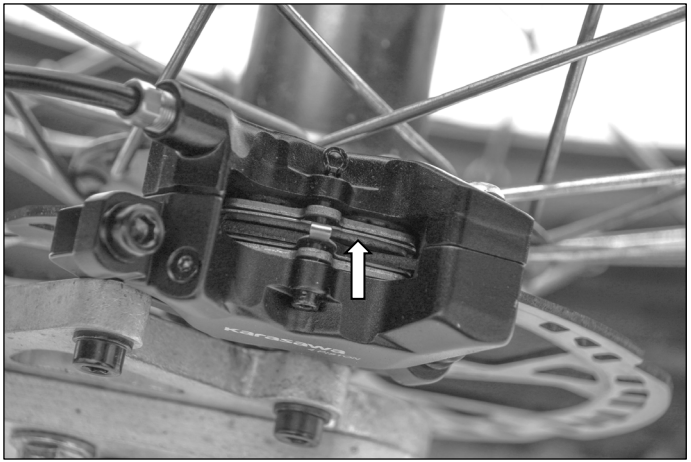
灯火類
ヘッドランプ、ターンランプストップランプの動作確認をしてください。

スポークのガタ
ホイールのスポークが緩んでいないか、チェックしてください。

ブレーキについて ⚠

GE-N3では、通常のオートバイと違い、MTB規格のブレーキを使用しています。コンパクトで軽量な半面、パッドが小さく薄いため、通常のオートバイよりも交換サイクルが早くなります。ご注意ください。

また、ブレーキのタッチが柔らかすぎると感じる場合、ブレーキ液に空気が混入している可能性があります。定期的なブリーディング（エア抜き）を行ってください。なお、ブレーキ液は自動車、オートバイで一般的なDOTではなく、**自転車ブレーキ用のミネラルオイル**を使用します。ご注意ください。

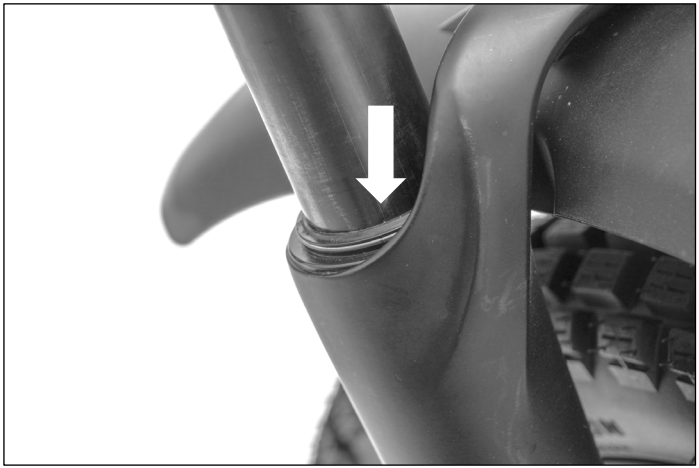


ブレーキパッド残量
パッドの残量が1mm程度を目安に交換してください。ブレーキキャリパーを外側から目視して、矢印に示すブレーキパッド（左右）が、サポートの金属板に隠れるほど減る前に、交換をお願いします。

ミネラルオイルを使用
自転車用のミネラルオイル（シマノ社製を推奨します）を使用してください。自動車、オートバイで一般的なDOT4やDOT5.1は使用できません。ご注意ください。

フロントフォークについて

GE-N3のフロントフォークには、通常のオートバイのようなオイルは使用されていません。動作が渋くなってきたと思われる場合、内部の清掃とダストシール部のグリスアップを行ってください。詳細は（https://www.yotsubakids.jp/maintenance）をご覧ください。



洗車後などにシリコングリスを塗布してください

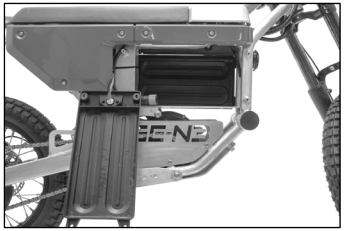
洗車後などに、矢印のダストシール部に、シリコン系のグリススプレーを塗布することで、スムーズな動きを保つことができます。それでも伸縮動作が渋い場合はフォーク内部に泥や錆びがあることが考えられますので、分解し清掃してください。

保管

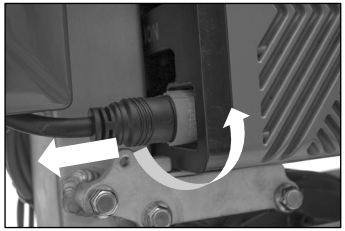
インナーガレージやカーポートなど、屋根の下で保管してください。露天の場合はバイクカバーなどをご利用ください。ハンドルロックを備えていない為、盗難防止にはU字ロックなどを使用してください。自動車内に積んで移動する場合、夏季の車内は高温になるため、移動後はすみやかに車両から下ろしてください。

長期間（１か月以上が目安）乗車せずに保管する場合は、バッテリーを50％まで充電した状態で、車両から取り外して屋内にて保管をお願いします。0％に近い状態あるいは100％に近い状態で長期の保管を行った場合、バッテリーの劣化の原因になります。

バッテリーの取り外し方



付属の工具を使用し、バッテリー右側のカバーを取り外してください。



バッテリーを数センチ引き出して、メインカプラーの青いリングを左に回してから、引き抜いてください。
取り付ける時はカプラーがカチっと音がするまで差し込んでください。

補修部品

パーツの破損、消耗品の交換の際は、公式ウェブサイトの補修パーツリスト（https://www.yotsubakids.jp/replacement-ge-n3）をご覧の上、お買い求めください。

スペアキー

車両には、２枚のカードキーが付属しています。カードキーと起動用のNFC機器はペアリングされており、カード紛失の際はNFC機器も一緒に交換する必要があります。紛失にご注意ください。

トラブルシューティング

マシントラブルの際は以下を参考に販売店にご相談ください。

症状	該当部品、確認箇所など
電源が入らない	バッテリーが接続されていない
	NFC機器が脱落している
	NFC機器のコネクター抜け
	NFC機器の故障
スロットルが反応しない	サイドスタンドが立っていないか
	走行モード
	スロットルのコネクター抜け
	スロットルの故障
パワー、スピードが出ない	バッテリー残量が少ない
	気温が低い
	スロットルの故障
	チェーンの抵抗
	ブレーキの引きずり
	タイヤ空気圧が低い

トラブルシューティング

マシントラブルの際は以下を参考に販売店にご相談ください。

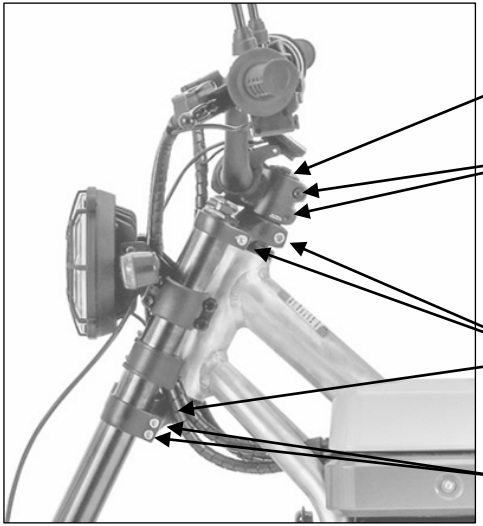
症状	該当部品、確認箇所など
充電できない（ランプ未点灯）	充電器側コネクターの差し込み確認
	充電器の故障
充電できない（ランプ緑点滅）	車両のバッテリーコネクターの抜け
	充電ポートからコントローラーの配線コネクター抜け
	充電ポートの故障
	充電器の故障
ブレーキの効きが悪い	ブレーキフルード内に空気が混入している
	ブレーキパッドの損耗
	ブレーキ液の不足
	ブレーキパッドに油分が付着している

エラー表示

ディスプレイにエラーが表示された場合の症状です。販売店あるいはダートフリークにご連絡ください。

表示コード	症状
E00	モーターホールセンサーの故障
E01	スロットルの故障
E06	モーターの温度異常
E11	モーターの相線の故障

主要箇所の締め付けトルク

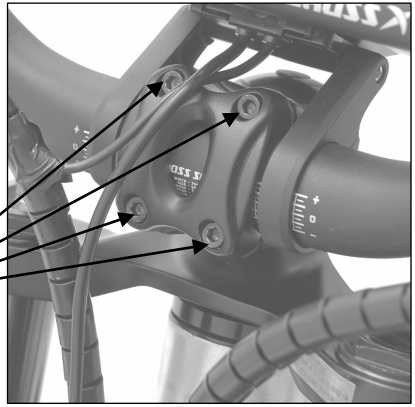


8Nm

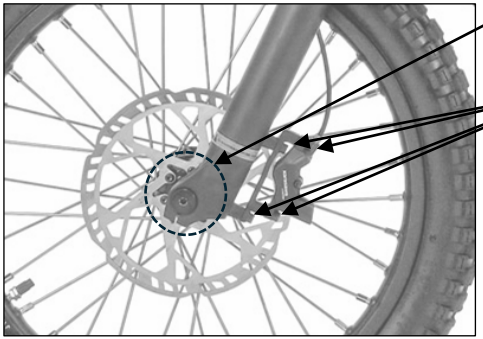
14Nm
（交互に締める）

10Nm

10Nm
（交互に締める）

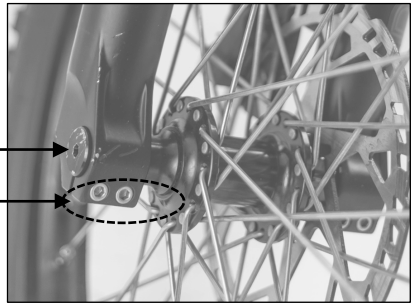


8Nm
（4カ所交互に締める）



4Nm（ロック剤）
（6カ所対角に締める）

8Nm（ロック剤）

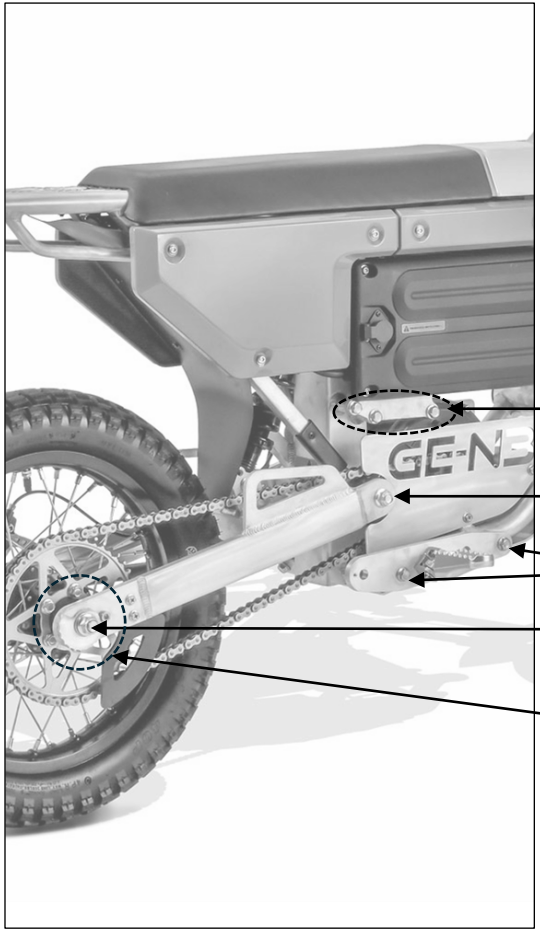


12Nm

8Nm
（交互に締める）

※ブレーキローター、キャリパーのトルクは後輪も同様

主要箇所の締め付けトルク



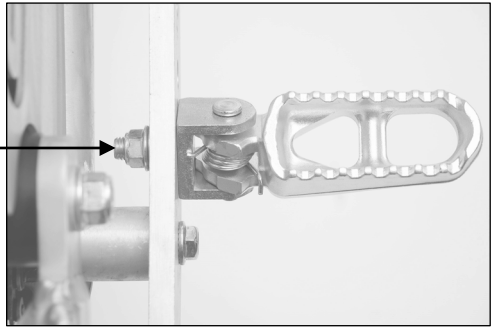
16Nm

60Nm

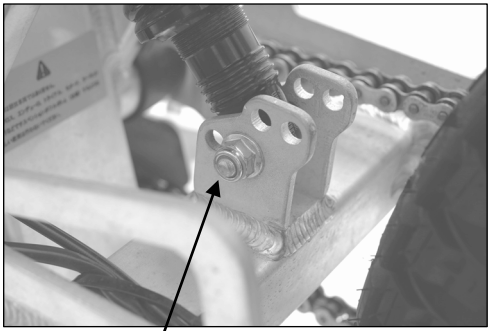
16Nm

70Nm

16Nm(ロック剤)
（5 カ所）



25Nm



14Nm

主要箇所の締め付けトルク

図中で指示の無い箇所の締め付けトルクは下表に準じます。

ネジ径	締め付けトルク（N.m)
M5	3.4~4.9
M6	5.9~7.8
M8	14~19
M10	25~34
M12	44~61
M14	73~98

主要諸元

【車名】	ダートフリーク　GE-N3
【区分】	第一種原動機付自転車
【全長】	1820mm
【全幅】	770mm
【全高】	1090mm（ミラー含まず）
【ホイールベース】	1255mm
【シート高（標準状態）】	790mm
【最低地上高（標準状態）】	220mm
【車両重量（バッテリー込）】	58kg
【乗車定員】	1名
【許容体重】	100kg(舗装路)/85kg(オフロード)
【バッテリー容量】	72V24Ah (1.7kwh)
【定格出力】	600W（瞬間最大出力2800W）
【充電器入力】	100-240V
【充電器出力】	6A
【充電時間】	約４時間
【最大走行距離】	100km　※30km定速、平地、乗員65kg、気温25°
【参考市街地走行距離】	50-60km　※乗員の体重、坂の有無、速度などの条件によって変化します
【前輪サイズ】	2.5-17　リム幅1.4J
【後輪サイズ】	3.0-14　リム幅1.6J
【フレーム】	AL6061
【スイングアーム】	AL6061
【ブレーキ】	油圧式対向４ピストン（MTB規格）

保証書

製品の保証は、お買い上げの日から１年間です。**競技やオフロードコース、サーキット等での走行によるトラブルについては保証の対象外になります。**

保証の対象になる部位

・フレーム（溶接不良、割れ）
・モーター
・バッテリー（満充電時85％に満たない）
・各電子部品
・充電器
・各灯火類（点灯しない場合）
・NFCキーシステムの動作不良
・ディスプレイ

保証の対象外の部位、症状

・フレームの製造時の小傷、汚損、酸化による変色
・タイヤ、ブレーキパッド、チェーンなどの消耗品
・灯火類の曇り、水滴入り
・フロントフォーク、リアショック
・ブレーキフルードのエア混入
・スポークの緩み、折れ
・転倒による破損

ご購入日

年　　月　　日

販売店印

DF DIRTFREAK

489-0005 愛知県中水野町2-30
Tel: 0561-86-8304
E-mail: yotsubamoto@dirtfreak.co.jp